

TUG 型多用途物品棚は豊富なアクセサリにより物品棚の用途が大きく広がります。

アクセサリ：背板・側板、回転式落下防止バー、回転式落下防止装置、タイヤ棚用アタッチメント、複式連結金具、固定ベースプレート、壁付け金具、中間横仕切り板、棚板用カードホルダー、背あたり、側あたり、大見出し、棚列表示板、ハンガーパイプ、キャスターベース

このたびは、「TUG 型中量ボルトレス棚アクセサリ」をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
本書には製品を安全に組立て、ご使用いただくための重要なことがらが記載されています。製品を使用される前に本書を必ずお読み下さい。また、本書はお読みになった後も製品の使用中にいつでも参照できるように、大切に保管して下さい。
尚、ご不明な点がございましたら、最寄の弊社営業所、または販売店にご相談下さい。

使用上の注意

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全かつ正しくお使いいただき、使用される方や他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

取扱いを誤ると、軽傷を負うか物的障害が発生する可能性があります。

■絵表示の意味



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



警告

- 棚本体に関しては、「TUG 型中量ボルトレス棚 取扱/組立説明書」の使用上の注意をご参照ください。
- 安全保安部品（安全ピン、ボルト等）をはずして使用しないで下さい。重大な事故を招く可能性があります。
- ❗ 分解・移設は専門業者にお任せください。棚の転倒等の事故になる恐れがあります。
- ❗ 解体をするときは組立手順を逆行して行って下さい。部品が外れたり、棚の転倒等の事故になる恐れがあります。
- ❗ 廃棄する時は専門業者にお任せ下さい。



注意

- 製品に強い衝撃を与えないで下さい。
- 製品の孔や隙間に指を入れないで下さい。
- 用途以外に使用しないで下さい。
- ボルトやナットがゆるんだまま使用しないで下さい。
- 異常を発見したまま使用しないで下さい。
- 傾斜している場所で使用しないで下さい。
- ❗ 危険物（薬品・壊れ物等）の収納には充分注意して下さい。
- ❗ 組立て完了後に全てのツメが柱の孔に完全に入っている事を確認して下さい。不完全な場合部材が落下し、事故になる恐れがあります。
- ❗ この製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本書を添えてお渡し下さい。

※製品は改良などにより、予告なく仕様を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎ **0120-509-849**
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

<http://www.orange-book.com/>

201901NIKKEI
K-08B

背板・側板

1 背板の組立て

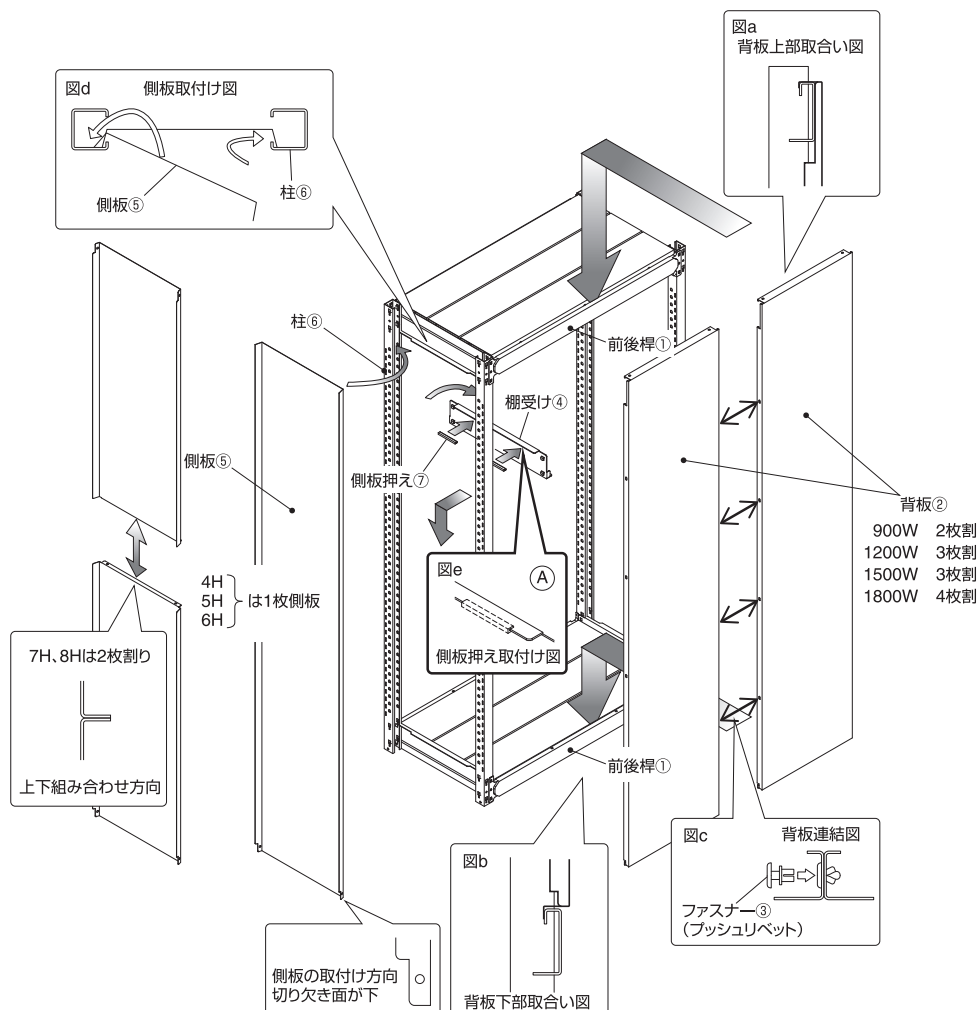
上下前後樑①に背板②を図の方向で引っ掛け、背板どうしをファスナー③で連結します。(図 a、図 b、図 c)

2 側板の組立て

棚受け④が柱⑥に掛けられていない状態で、側板⑤を柱⑥の中に図のように差し込んでください。(図 d 参照)

棚受け④の上部曲げ(A)両端に、側板押え⑦を差し込み(図 e 参照)、棚受け④を使用したい箇所に引っ掛けてください。

※(注)2分割タイプの側板で棚板段ピッチ 600mm 以上になる場合は、側板固定のため側当り(別途)を棚受け④同様に取付けてください。

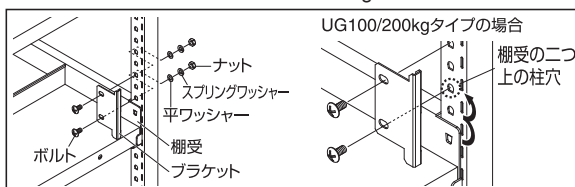


回転式落下防止装置

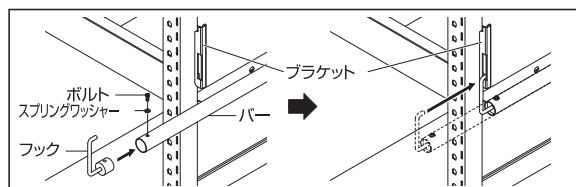


1 左右のブラケットを柱に取り付けます。

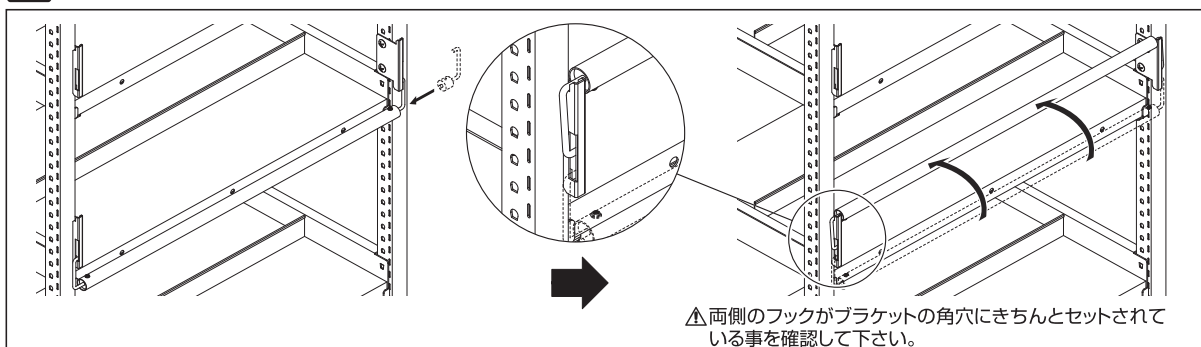
[ブラケットのボルト止め位置] TUG450/600kgタイプ: 棚受の一つ上の柱穴
TUG300kgタイプ: 棚受の二つ上の柱穴



2 バーの片側にフックを取り付けてブラケットの角穴にセットします。



3 もう片側のフックを取り付けてバーを回転し、フックをブラケットにセットして固定します。

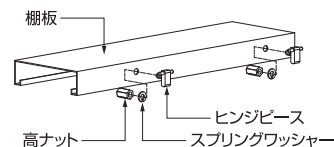


回転式落下防止バー



1 ヒンジピースの取付け

ヒンジピースを、棚板の前面にスプリングワッシャーを介し、高ナットで取付けます。ヒンジピースの軸(両側に出ている突起)が、水平になるように取付けてください。



注記

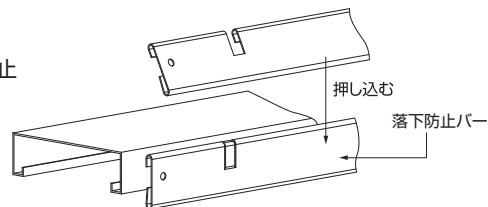
棚の間口種類により、落下防止デバイサーが2分割になります。この場合、ヒンジピースを3箇所に取り付けてください。



900W	1本
1200W	1本
1500W	2分割
1800W	2分割

2 落下防止バーの取付け

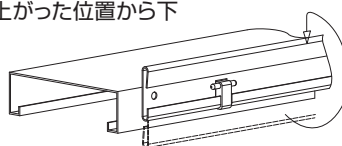
落下防止バーの、切り欠き側を上にしてヒンジピースの軸に掛け、落下防止バーが軸にはまるまで上から押し込みます。



3 セッティング

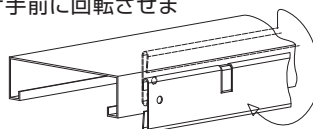
落下防止バーの下方を手前に180度引き起こし、立ち上がった位置から下に落とし込み使用します。

落下防止作動時



格納物を出し入れする時は、落下防止バーを持ち上げ手前に回転させます。

落下防止解除時



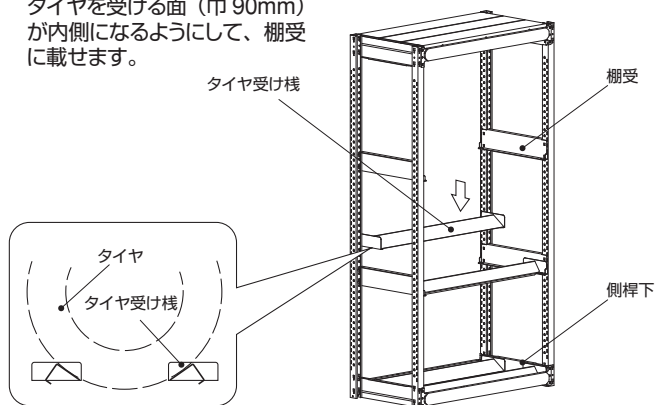
落下防止バー構成部品

落下防止バー	900W	1本
	1200W	1本
	1500W	2本
	1800W	2本
ヒンジピース	900W	2ヶ
	1200W	2ヶ
	1500W	3ヶ
	1800W	3ヶ
高ナットM8 スプリングワッシャーM8	900W	2ヶ
	1200W	2ヶ
	1500W	3ヶ
	1800W	3ヶ

タイヤ棚用アタッチメント

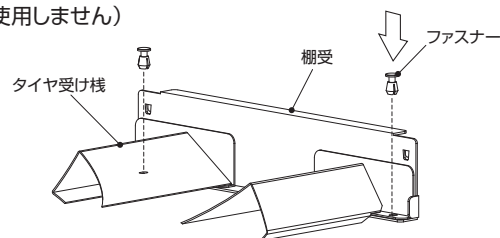
1 タイヤ受け棧の取付け

タイヤを受ける面(巾90mm)が内側になるようにして、棚受に載せます。



2 タイヤ受け棧の固定

棚受とタイヤ受け棧の取付け孔を合わせて、ファスナーで固定します。ファスナーは指で最後まで押し込んでください。(最下段は側桿下に取付けるので、タイヤ受けを置くだけでファスナーを使用しません)



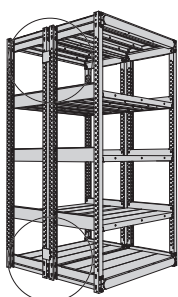
タイヤ棚用アタッチメント構成部品

タイヤ受け棧	2ヶ
ファスナー	4ヶ

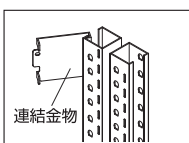
※ 棚受けは棚本体、又は追加棚板に付属しています。

複式連結金具

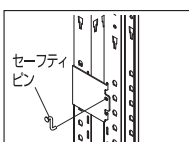
※ 連結する柱の上部と下部2ヶ所止めます



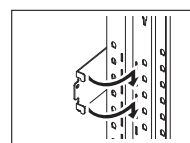
1 下図のように、柱のサイドに連結金具を引っ掛けます。



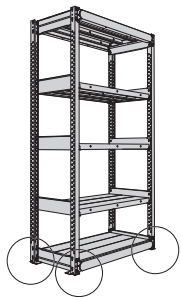
3 セーフティピンを差し込みます。



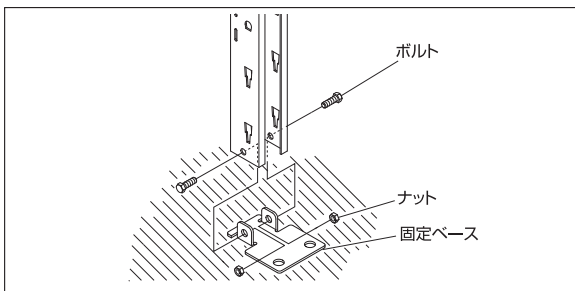
2 柱の細穴に連結金具を差し込みます。



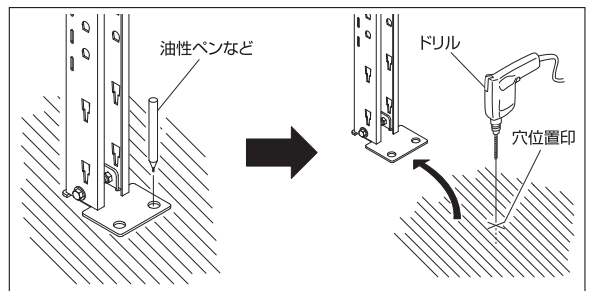
固定ベースプレート(コンクリート床への固定)



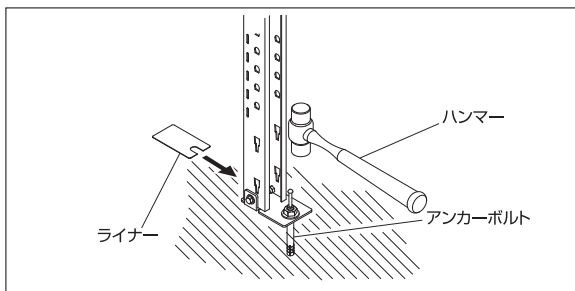
1 固定ベースをラックの柱穴2カ所にボルトで固定します。



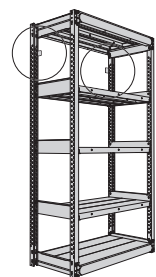
2 アンカー用穴の位置決めのために、柱1本につき1カ所に印をつけます。つぎに、一旦ラックをどかしてドリルで床にアンカー用の穴をあけ、穴の中のカスを掃除機などで吸い取ります。



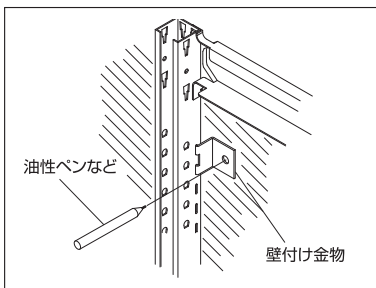
3 ラックを据付位置に戻し、アンカーボルトをハンマーで打ち込み、ライナーでレベルを調整した後、ナットを締め付けます。



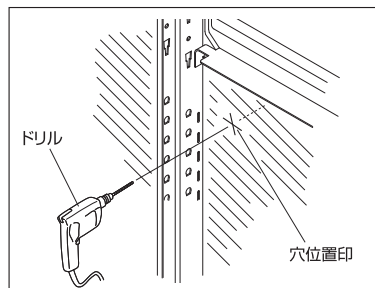
壁付け金具(コンクリート壁への固定)



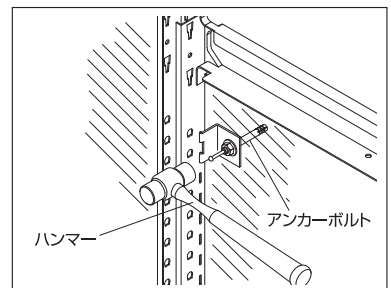
1 ラック柱の最上部の細穴に壁付け金具を取り付けて、壁固定位置を決め、壁に印をつけます。



2 一旦壁付け金具を外し、ドリルでアンカー用の穴をあけ、穴の中のカスを掃除機などで吸い取ります。

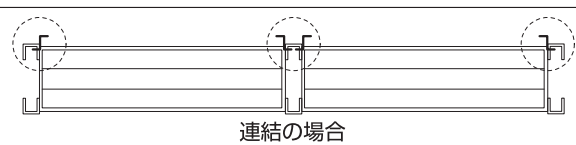
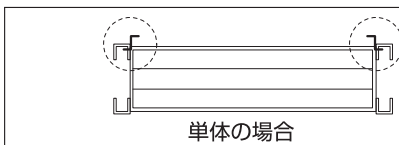


3 壁付け金具を再びセットし、ハンマーでアンカーボルトを打ちこみ、ナットを締めて、固定します。



壁付け金具取り付け位置(ラックを上から見た図)

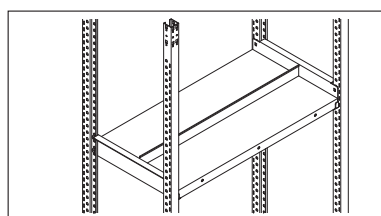
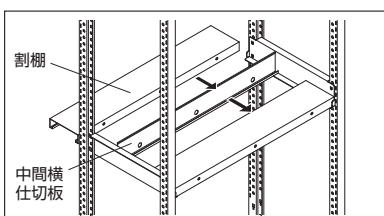
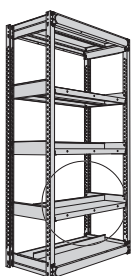
※1台につき2カ所取り付けます。



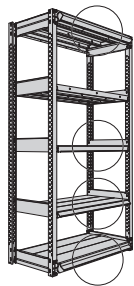
※コンクリート床、コンクリート壁以外への固定については最寄の販売店、営業所にお問い合わせ下さい。

中間横仕切板

割棚の間に中間横仕切板を挟み込むようにセットします。

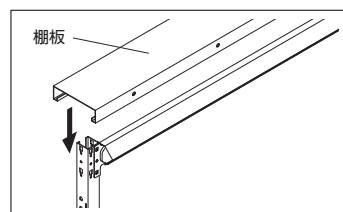
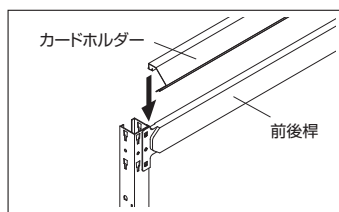


棚板用カードホルダー



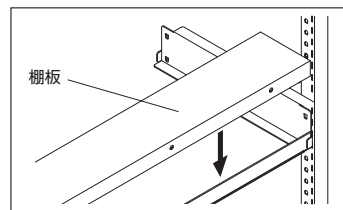
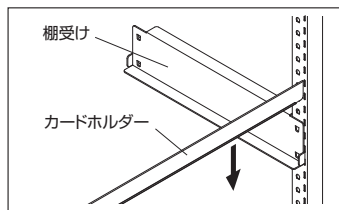
●棚板用カードホルダー(WT型)上段用

前後棒にカードホルダーを上からかぶせ、棚板を乗せて押さえます。



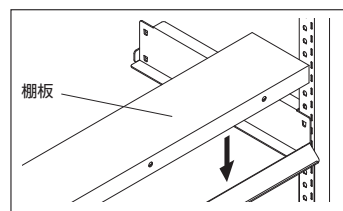
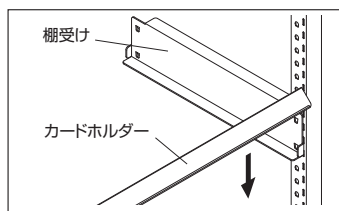
●棚板用カードホルダー(WM型)中段用

棚受けにカードホルダーを乗せ、上に棚板を乗せて押さえます。



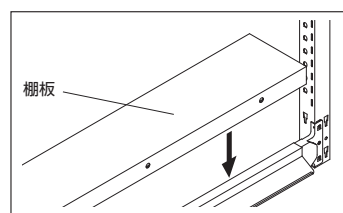
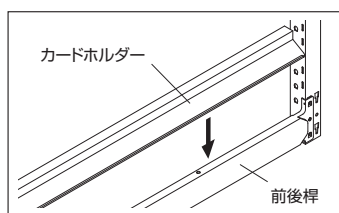
●棚板用カードホルダー(W45型)中段用 45°

棚受けにカードホルダーを乗せ、上に棚板を乗せて押さえます。

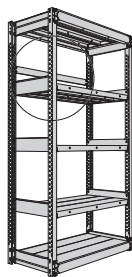


●棚板用カードホルダー(WU型)下段用

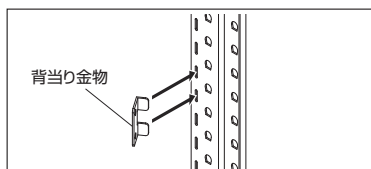
前後棒にカードホルダーを上からかぶせ、棚板を乗せて押さえます。



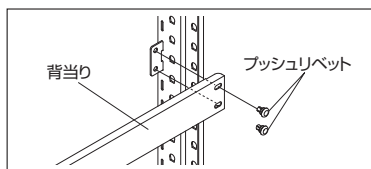
背あたり



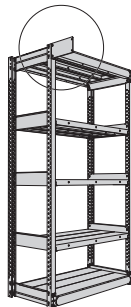
- 1 背当り金物を柱の外側の細穴に差し込みます。
※両サイドの柱に差し込みます。



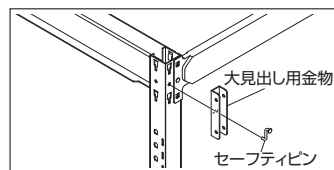
- 2 背当りを 1 で差し込んだ背当り金物にプッシュリベットで片側2ヶ所、両側で4ヶ所固定します。



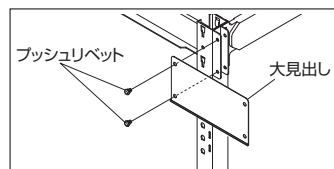
大見出し



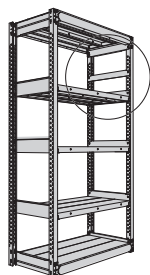
- 1 大見出し用金物を柱にセットします。
▽ 穴にはめ込み、しっかりとみ合わせ、中央の穴にセーフティピンを差し込みます。



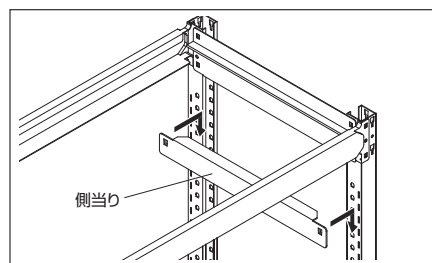
- 2 1 でセットした大見出し用金物に、大見出しをプッシュリベットで2ヶ所固定します。



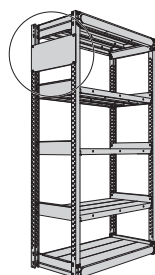
側あたり



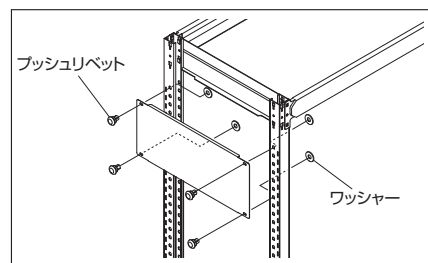
柱の○穴にはめ込みます。



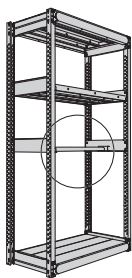
棚列表示板



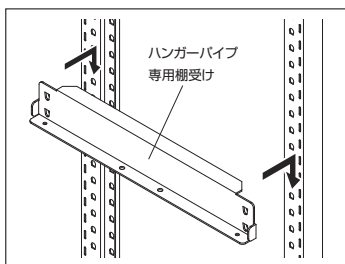
柱の○穴の内側にワッシャーを当て、外側からプッシュリベットで4ヶ所固定します。



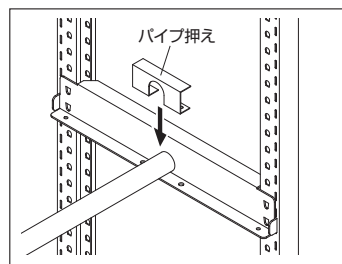
ハンガーパイプ



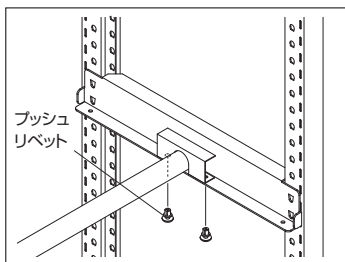
1 ハンガーパイプ専用棚受けを柱の○穴に掛けます。



2 パイプを棚受けに乗せてパイプ押えを上からかぶせます。



3 プッシュリベットを棚受けの下から2ヶ所にしっかりと差し込み、パイプを固定します。



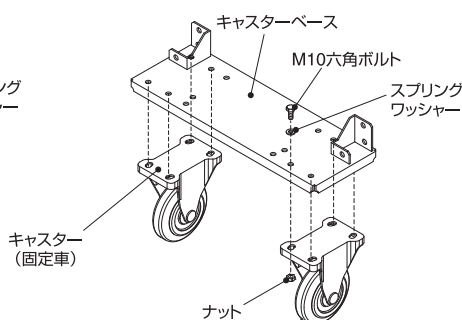
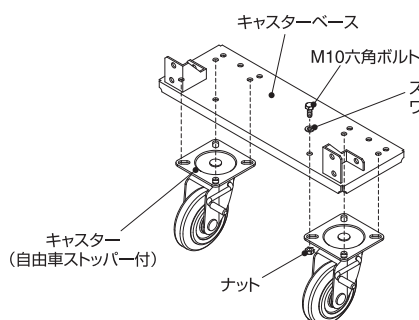
※ハンガーパイプ最大積載質量
(等分布質量)

W900用	: 122kg/段
W1200用	: 62kg/段
W1500用	: 37kg/段
W1800用	: 25kg/段

キャスターベース

1 キャスターの取付け

キャスターベースに、キャスター(自由車ストッパー付)をボルトで取付けます。
もう片方のキャスターベースに、キャスター(固定車)を取付けます。

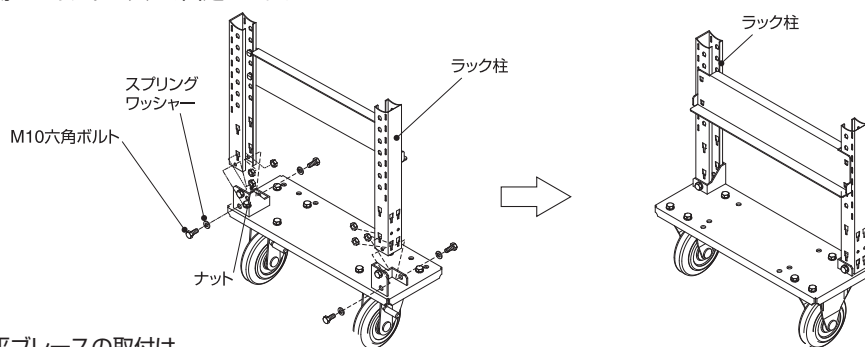


キャスターベースの使用条件を
守ってお使いください

- ① 高さ 1800mm以下、
奥行き 476mm以上のラックに
使用してください。
- ② 一台当りの最大積載質量は
500kg以下です。

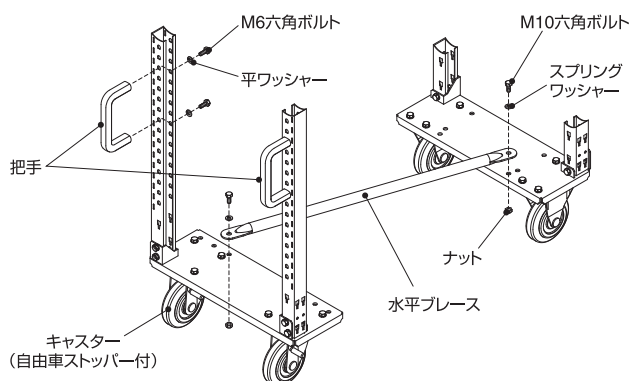
2 キャスターベースの取付け

組立て済みのラックを片方ずつ持ち上げて、キャスターベースの凸部にラックの柱を差し込みます。
外側からボルトを入れ、固定します。



3 水平ブレースの取付け

キャスターベースに、水平ブレースをボルトで対角に取付けます。自由車側の柱の○孔に、把手をボルトで取付けます。
把手の取付け位置は、床面から1100mm位が適当な高さです。



キャスターベース構成部品

キャスターベース	2ヶ
キャスター自由車ストッパー付	2ヶ
固定車	2ヶ
水平ブレース	1本
把手	2ヶ
ボルト 六角 M10×20	30本
六角 M6×13	4本
スプリングワッシャー M10	30枚
平ワッシャー M6	4枚

キャスターの組合わせは、ご注文内容により本説明書と異なる場合があります。